

令和4年12月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和4年12月26日(月) 午前9時00分～午前10時23分

場 所 上市町役場2階 第1会議室

1 開会

2 教育長の報告

新型コロナが収まらない中ではあったが、無事に2学期の終業式を終えることができた。新年には五武道の稽古始めなど諸行事が予定されているが、新型コロナと共存しながら進めていくこととなる。卒業式も在校生を入れて式を行うことを検討している。

新年度予算の検討を行っているところであるが、立山町が子育て支援の一環として配布されたランドセルの代わりとなるデイパックについては、保護者の方へのアンケートを行った結果、上市では配布は行わないこととなった。

また、給食費の無償化については、物価上昇による材料費の高騰が大きく影響することから、財源確保などの面から、検討を行っている。

3 教育委員会定例会 会議記録の報告

4 議事

(1) 上市町立学校職員服務規程の一部改正について

[説明]

県は本年4月1日から既に出勤簿への押印を廃止しており、町でも負担軽減や事務効率化のため廃止とするもの。

(委員)

出勤簿に代わるものはあるのか。

— タイムレコーダーを導入していることから、出退勤管理は可能である。また、出勤簿自体が無くなるものではなく、押印を廃止し、休暇等については出勤簿に記載し、各種手続きはその写しで行うこととなる。

—承認—

(2) 学校のあり方について

[説明]

(教育長)

前回の定例会では、小中一体型の校舎の建設ということで合意したと思っているが、最終的なゴールとして、小中一貫なのか義務教育学校なのかという点について、その時期も含めてご意見を聴かせていただきたい。

(委員)

2、3年で一体型の校舎建設となれば、6小1中を一度にまとめることになるが、10年後となると段階的という考えも出てくる。教育委員会としていずれはひ

とつにまとめると提示するのか。また、保護者としては近いところに通わせたいと考えると、小学校から離れた場所には住まなくなる。ほかにも、小規模の学校では子どもたちに役割を多く任せることができることから、子供の成長に寄与するとも考えられ、そのことが上市独自のあたたかさを生むとも言える。

(教育長)

前回の教育委員会では、上市中央小の分割という案もあった。

(事務局)

上市中央小を分割し、他の校舎は利用するというのであれば、教育委員会として示している学級の適正規模、1学級15名から25名程度を、10年程度であれば維持も可能かもしれない。

(委員)

上市中央小を分割となると様々な意見が出てくる。分割後に校舎建設をして、その時点で統廃合ということなのか、ずっと分割されたままなのかによっても意見は違うと思う。

(委員)

しかしながら、将来的な町の財政運営を考えると、校舎を建設するのであれば、小中まとめて一つとなるのではないか。

(事務局)

教育委員会としては、ゴールまでの過程を提示すべきなのか、そこはこの後の町全体での議論に委ね、子どもたちの教育環境としてどのようなものを目指すのかというところの提示にとどめるという考えもある。

(委員)

確かに教育委員会としては、子どもたちの教育環境を一番に考えるべきである。

(教育長)

それでは、到達点としては義務教育学校ということによろしいか。

— 委員同意 —

5 報告・その他

(1) 令和4年12月議会の対応について

— 質問、意見なし

(2) 新年度予算編成に係る重点要求事項等について

(委員)

部活動の地域移行について、学校に残る部活動の活動時間はどうか。2時間はなく、十分な活動時間が取れないのではないか。移行にあたっては生徒のことを第一に考える必要がある。

(委員)

教員が専門的な指導を行えないことや、生徒数の減少から移行は必要と考えるが。

(教育長)

教員の勤務時間の内側でどうやっていくのかが、求められていると思う。

(3) 第48回上市町民スキー大会について

(4) その他

(委員)

スクールバスの時刻について、今年度、下校完了時刻が変更されてこともあってか、中学校の帰りのバス時刻が生徒に不都合な設定となっているように感じる。バス時刻の確認をお願いしたい。

ー コミュニティバスについては、現時点での変更はできないが、臨時便については確認を試みる。

6 閉会